

2020年11月16日

【資産運用業フォーラムにおける開会挨拶】

ご紹介いただきました日本投資顧問業協会会長の大場でございます。本日は、ご多忙のところご視聴頂き、誠にありがとうございます。

只今から、「資産運用業フォーラム」を開会いたします。

本フォーラムは、投資信託協会と日本投資顧問業協会が共催で行う初めての企画です。

はじめに、私から本フォーラムの開催の趣旨について申し上げます。

私ども投資信託協会と日本投資顧問業協会の会員が運用を受託している資産は、個人投資家向けの投資信託と年金基金等の資産を運用する投資一任口座を合わせると、今や500兆円を超える規模になっています。これは我が国のGDPに匹敵する規模であり、資産運用業は社会に対して大きな影響力を持つ存在となってきました。

また、資産運用会社は、企業価値の向上を図り、その収益の果実を家計にもたらすという好循環社会を実現する上で、極めて重要な役割を担っております。

このため、資産運用会社には、自らに課せられた役割の重要性を自覚し、創意工夫をこらしながら、以下

の3点を意識した運営が求められます。

- ① お客様の利益を最優先とするカバランスの確立、
- ② 資産運用ビジネスに対する親会社の理解と協力
(金融グループに属する場合)、
- ③ 自社が目指すべき姿の明確化とその実現に向けた具体的な取組みの推進、

であります。

一方、インベストメント・チェーンにおいて、資産運用業界が重要な役割を担っているにもかかわらず、残念ながら我が国においてはその存在感が乏しいというのが現状です。そこで、資産運用会社の「社会的使命」や「目指すべき姿」について多くの方々にご理解を頂き、資産運用業界が国民にとって身近な存在となる契機となるよう、投資信託協会と日本投資顧問業協会が共同で本フォーラムを開催することとしました。

本日のフォーラムでは、赤澤内閣府副大臣からご挨拶を賜った後、資産運用会社の経営者をパネラーとして、2つのテーマ（「資産運用会社の社会的使命と使命を果たすための課題」と「投資信託が国民により親しまれるための取り組みと課題」）についてパネルディスカッションを行います。資産運用会社の社長が一堂に会して議論する初めての企画です。そして、最後に、資産運用会社の社会的使命や目指すべき姿を「資

産運用業宣言2020」として表明することとしております。

本フォーラムが幅広く資産運用業への理解が深まる契機となり、また、投資信託協会と日本投資顧問業協会の会員各社におかれては自らの社会的使命を改めて認識して頂き、目指すべき姿に向かって取り組んでいく決意を新たにされることを期待して、私の挨拶とさせていただきます。

以 上